

Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区多摩南グループ東京飛火野ロータリークラブ



会長 梅田 俊幸



幹事 結城 祐純

会長テーマ 地域社会へ奉仕の輪を広げ
ロータリーの理念を広めよう



2021-22 Weekly Report vol.34-26

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2022年3月8日(火) 第1572回 通常例会 於:オンライン

■司会 幹事 結城祐純会員

■開会点鐘 会長 梅田俊幸会員

四のテスト 奉仕の理想 今月の歌「春の小川」

■ニコニコ報告 幹事 結城祐純会員

メッセージ後記

■出席報告 出席委員会委員長 会員

出席報告後期

■会長報告 会長 梅田俊幸会員

今日は国際女性デーということ。女性の権利向上、差別撤廃を目指す国連が国際婦人年の1975年に制定したということです。

ロータリークラブでも女性会員の推進をしています。当クラブでも現在3名の女性会員がいますがこれから益々活動の中心となって頂き会の活性化を図って頂きたいと思っています。日本は国際的には女性の様々なランキングでは下位の方です。私個人の感覚ではそれほど遅れているという感覚は順位ほどはないのですがまだまだということ。自民党高市政調会長のインタビュー記事では総理候補ということで政界のガラスの天井について聞いていましたがまだ女性総理誕生には時間がかかるかも知れません。日野市議会では4~6人の会派で2名ぐらいの女性議員がいますので平均的にはいい方かも知れません。何れにしても女性の社会進出は益々必要ですし応援したいと思っています。

3/29の例会は日野ロータリークラブとの合同花見例会が中止となりましたので水野会員手配で屋形船での花見例会としました。29日は東京での満開予想日ですのでご家族の参加も結構ですので是非ご参加下さい。

また、ロータリーデーの件ですが今日野ロータリークラブとの合同で協議をしていますのでまた皆様にご報告致します。

今月の卓話は全て会員にお願いしています。本日の卓話は渡邊会員です。宜しくお願い致します。

■幹事報告 幹事 結城祐純会員

1.ウクライナ支援のお願いが届いています。

2.4/26開催の町田RC60周年記念式典。梅田会長・結城幹事出席します。

3.5/12~5/15開催の「バギオ訪問交流の旅」の案内が届いています。

4.八王子西RC・八王子東RC・八王子南RC・八王子北RCと稲城RCより例会変更案内が届いています。

●ウクライナ支援金をクラブから2万円支出したいと思います。いかがでしょう。出席会員賛同。

■卓話「青春時代と私」 渡邊良勝会員

生まれは埼玉県所沢市で本籍が墨田区吾妻町なのは、戦中、祖母の実家の近くに疎開して居たのですが、終戦後墨田区が焼け野原になり、帰るに帰れずそのまま所沢に居続けている時に生まれました。3歳に成った頃、所沢に居続ける事も良くないと父が思い、吾妻町に帰る事を計画していた時、小平市で土地を売っているとの情報が入り、見に行ったら環境も良かった事と、まだ吾妻町が左程復興していなかった事もあり、小平に転居することになりました。以来、結婚するまで小平

で生活を送っていました。本籍の吾妻町は現在「八広」と町名が変わり、吾妻町の名前は、浅草の浅草寺近くにある吾妻橋として残っているだけです。小・中学は、小平市の学校に通い、その頃は外で遊んでいるか、家の中で絵を描いているかという生活でした。中学の頃バスケットボールを始め運動は勉強よりも好きでした。

高校進学を考えたとき、兄が卒業した明治学院が白金から中学校は東村山に移転し、同時に二つ目の高校として明治学院東村山高校が近くに在ることを知り、何となく決めました。

行ってから気づいたのが、学校はプロテスタント系のミッションスクールだったことです。クラブ活動として、バスケ部に入ったのですが、試合はいつも二回戦で負けていました。ですから、顧問の先生からは常に試合では「勝つ」と云うことを言われていたのですが、文化祭時期にレベルの同じ様な高校から、先方の文化祭での招待試合に行く事になり出かける前、顧問の先生に挨拶に行ったら「アッ! そうか、今日だったか。頑張て来いよ。」と言われましたので「はい! 頑張てきます」と返事をし、振り返ったら、「チョット待て! 」と言われ少し間を置いてから「今日の試合は、どういう試合が分かっているな? 」と言われ、良く分からなかったで黙っていると、「負けて来い、今日は勝つんじゃないぞ」「でも1点差だからな」と言われました。しかし乍ら、僕は勝つつもりで試合したんですが3点差で負けました。学校に帰り報告に行くと「どうだった? 」と聞かれ、「シーソーゲームで逆転・逆転の連続で、3点差で負けました」と報告。「向こうのはどんな感じだった? 」「大騒ぎになり、体育館がお祭りみたいにメチャクチャで、試合後の挨拶もまともに出来ないくらいでした」と言う。「そーか、それは良かったじゃないか。お疲れさん。今度は負けんなよ」と云うようなことが有りました。負けを意識し試合に臨むことはフェアプレー精神としてどうかと云うこともありますが、試合の都度「この試合はどういう試合なのか」を意識するようになった出来事でした。

高校1年の終業式の時、その後の趣味が一変することが有りました。音楽の先生がプロの音楽家に専念するため、退職をする送別の終業式でもありました。先生が簡単な挨拶をし、皆とのお別れのしるしとして、校歌を歌いますと言いつつ演題の斜め前に出て歌い始めたとき、驚きと感動を受けました。先生は、授業の時でも歌ったことがなく初めて声を聴きました。オペラ歌手の声を直接、始めて聞いた感じは、講堂全体が声で広く、大きく包まれている様でいて、声の中に自分がいるにも感じられる体験でした。それから、音楽に興味を持ちながら2年になった時、新任の音楽の先生も音楽家で国立音大を卒業したばかりでやる気満々でした。その先生に誘われて音楽部に入り、自分が歌うことになりました。これで、体育系から文科系に移行して今に至っています。

写真は、初めて舞台上で歌った時のもので、男子校でしたので写りも地味です。前で聞いているのは女子高生ばかりで音楽祭参加者の8割以上は女子でした。他校の聖歌隊は女子ばかりなので、混声合唱が出来ないのはお互い様状況なので、一緒に混声をやりたいと誘われ、歌った時の写真です。音楽部と言っても聖歌隊でしたのでガウンを着用しています。

明治学院東村山高校には、飛火野RCとして初めて受け入れをした青少年交換留学生「ジョッシュ君」を、一年間預かってもらいました。この時は、男女共学となっていました。

大学での生活は、音楽部の先輩に誘われ「グリークラブ」という混声合唱部に入りました。拳法部とラグビー部から勧誘を受け、迷っている時に坂田先輩とキャンパスで話をしていたら、二人の前を通り「坂田君何しているの」と「中山百合」さんという方が声を掛けてきました。今風でいうとベッキー似の綺麗な人で、男子校出の僕にはアイドルの様でした。透かさず坂田さんが「1年先輩になるけど入部したら紹介するよ!」と親切に言ってくれました。これで、迷わずグリークラブに入部となりました。入部後2~3カ月しても紹介がないので坂田さんに「あの件はどうなっていますか」と催促したら、「エッ!お前わからない?」「百合さんは付き合っている人が居るじゃん。小沢さんだよ」とパッサリやられました。

これが大学で最初に学んだ人間関係の怖さでした。ちなみに、私は右から3番目の黒っぽい服で、2番目に居る白いスカートの子は、「渡邊三保子」という女性です。

クラブは、100人を超える大所帯で、初めてオーケストラによる演奏会の時の写真です。私は、2列目のアルト寄りにいます。大人数での合唱は良い点と悪い点があり、一人が少しくらい間違えても上手く誤魔化しが出来てしまったりします。騙せないのはカルテットで4人の場合、誰一人として少しも間違えられないので逆に難しいです。他のパートを聞きながら合わせていくにはカルテットが良いと思い「フォーカルチャーズ」と名乗り活動していました。また、20人位と指定され、アバコ視聴覚室から讃美歌を録音したいと依頼され、録音はアバコブライダルホールでの結婚式に使うとの事でした。

歌いながらも、絵は描いていました。楽譜は装丁部分が汚れ、ポロポロになるので書籍の様にカバーを掛けていました。カバーが無地では味気ないので絵を描いていました。この絵は三保子と云う人が、写真部のモデルをやった時、現像した写真の1枚を使い描きました。絵の周りには天使が囲い、左下に居るのはポチとなった私かもしれません。オラトリオ「ヨブ」の楽譜カバーと、ラファエロの「エゼキエルの幻視」を模写したものです。パラは、チョット失敗しまして、蛍光灯の下で書いたので光が全面に当たり明暗が出てないです。絵を見て演奏会のパンフレットに挿絵を入れたいのでカットを描いてくれと頼まれ、パンフレットを吹いている青年、ヴァイオリンを奏でている青年等を描き掲載しました。パッハは目つきが悪くなりドビシーはオマケで描きました。

週末は、学生時代の友人とドライブやハイキング。その後も就職した職場の仲間たちと秩父48箇所巡りをし、出かけるときには常備薬(酒)を欠かさず携帯していきました。右手に持っているのは地酒の式号徳利です。

城南信用金庫に就職してから3年目、初めて海外旅行を経験した時の写真で、営業の3人で休暇を取ると言った時「お前ら何考えてるんだ」「3人も一緒に休むとは何事だ」とか、色々言われましたが、この通り南国を楽しみました。最初の海外旅行が楽しかったので、それからはチャンスがあれば出かけようと思うようになりました。貸付係の時、本部から新入社員募集用冊子を作製するにあたり、職員の働いているところを撮りたいとの事でカメラマンが来て、「お前そこで仕事をしている振りをしろ」と言われ撮ったのですが、最初はカウンターの外にはひとが居なくて恰好が付かないからと、他の職員がお客に成りすまして取り直した写真です。

大学時代の写真に何度か登場した、渡邊三保子と云う人と結婚しました。ウエディングドレスは、新婦さんのデザイン・作製によるもので

す。新婚旅行は当然の事ながら海外で、モスクワとレニングラード(現サンクトペテルブルク)に行ったのですが、当時のソ連はブレジネフ書記長の時代で、ソ連に行く人は珍しく飛行機はエアロフロートがほとんどでした。出国手続きカウンターで二人して手続きをしていると、モスクワ行のチケットを確認しながら「お仕事。お疲れ様です」と言われたので、新婦さんが「私たち新婚旅行です」と指輪が見えるように髪をかき上げる様な仕草をしたような。ソ連はツアーで申し込んだのですが、帰国するまで2人きりでした。奥さんが当時からロシア語を勉強していたので、ホテルのラジオを付けカセットテープでロシア語を録音しようとしたのですが、帰るとテープは止まっていた。作動していることを確認したうえでこの事でしたが録音できませんでした。市内を観光中、交差点で立ち止まっている時とか、長距離電車で移動の時で席を離れ連結部でタバコを吸っている時等々、色々な人がタバコをくれ、またはタバコを交換しよう、と話しかけられました。記念写真も撮るときは、背景に駅が入らないか?とか写真に撮ってはいけない施設が無いかなど気を付けました。今でも分からないのが、モスクワで外務省本省にこれから行く、とガイドに言われ、入口までガイドの同行で行ったら、ここからは、私は入れないので二人で行きなさい。正面の扉を開けると人が居るので、その人の指示に従ってください。と言われ、何だろう?と長い廊下を不安な気持ちで進み、高さが3メートルは有ろうかという大きな扉を開けると、太ったおばさんが立っていてコッチと云うように手招きされたので入ると、豪華な部屋でシャンパンが用意してあり、外務省の人と思われる真ん中に座っている男性の合図で乾杯となりました。太ったおばさんが日本語出来、乾杯の仕方など教えてくれ、一段落すると真ん中の男性が質問をしてきて「何しにソ連に来たのですか?」など、返事は「新婚旅行です」と分かり切った事と、日本での職業などを聞かれたのですが全て事前に登録(入国時の書類に記載済み)の内容ばかりだったような気がしました。シベリア送りはならないとは思いましたが、呼ばれた意味が分からないままです。

星野先生は、結婚と共に青春時代が終わったとの事でしたが、僕の場合はハネムーンが終わり、青春時代から壮年時代へと移ってきました。郵便局でのお話は、「壮年時代と私」のテーマとして改めて卓話の機会がありましたらお話ししたいと思います。

■謝辞 会長 梅田俊幸会員

渡邊会員ありがとうございました。青春時代の話楽しく聞かせてもらいました。

■閉会点鐘 会長 梅田俊幸会員

ニコニコメッセージ

梅田俊幸さん・本日もオンライン例会よろしくお願ひいたします。本日の卓話は渡邊会員です。宜しくお願ひ致します。

渡邊良勝さん・本日、卓話をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

平吹正義さん・オミクロンの次はステルスオミクロン。どこまで続くのか心配ですね。本日の渡邊さんの卓話楽しみにしています。

平 良信さん・結婚記念日(3月7日)においしい肉をいただきありがとうございます。なんと、39回目の記念日です。当時、初々しかった頃を思い出します。(二人共に!)

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1572回	22	18	1	-	3	86
第1570回	22	18	1	0	2	91

ニコニコBOX

本日 17,000円 累計 539,114円

本年度目標額1,200,000円 達成率44.9%

※今週のメイクアップ 水野さん

※先々週の後メイクアップ なし